区分	□ 新　規　　■ 再提案　（４・４・１４第１５０回総会；松本市）		
種類	■ 現行制度の改善又は拡充を求めるもの □ 新たな施策の要望又は提案を求めるもの ■ 特に市町村への財政支援策等を求めるもの □ その他（　　）	分野	□ 総務文教 ■ 社会環境 □ 経済 □ 危機管理建設
要望先	□ 国	担当省庁	
	■ 県	担当部局	健康福祉部
	□ その他	名　　称	

件名	**10　福祉医療費給付事業窓口無料化の障がい者への拡大について**
提案市	松本市
提案要旨	障がい者の福祉医療費給付事業の窓口無料化については、重度心身障がい者親の会、関係団体、議員等から強い要望をいただいている。 しかし、障がい者の窓口無料化の実施は、新たに生じる財政負担が大きいことから、こどもの医療費現物給付化同様、県の補助金拡大及び県内統一で実施できる体制の整備を要望する。
提案理由	障がい者の福祉医療費給付事業の窓口無料化について、現在の償還払い方式から現物給付方式に切り替えた場合、国民健康保険における国庫負担金の減額措置、健康保険組合の付加給付分の負担があり、新たな財政負担が生じる。 特に国庫負担金の減額調整額が大きく、財政への影響を鑑みて、方式の切替えを足踏みする原因となっている。
現況及び課題等	令和３年度の給付実績（２０歳以上） ・給付件数　　２５１，５５５件 ・給付額　　８００，７９３千円 ・県補助金　　２７０，８８３千円 現物給付へ移行した場合の新たな財政負担額 ・概　算　　１６１，１７４千円（令和３年度給付実績から算出）
関係法令	長野県福祉医療費給付事業補助金交付要綱